

2017年5月15日 東京

関係各位

指揮者・及川光悦先生は、ポーランドの若き音楽家を日本の聴衆のみなさまに紹介する活動を続けておられます。それによるご貢献は、はかり知れないほど大きなものです。今年、及川先生は、ポーランドの極めて優秀な若手ホルン奏者ヤヌシュ・ピョトル・スタネツキ氏を日本に招聘されます。

ヤヌシュ・ピョトル・スタネツキ氏はポーランドのブイドゴシュチ市生まれ。2010年に、ブイドゴシュチ市にあるフェリクス・ノヴォヴィエイスキ記念音楽大学を最優等の成績で卒業し、同窓生目録に記載されるという栄誉を勝ち得ました。

プロとしての演奏歴は2006年、トルン交響楽団との協働を始めたときからです。その後、2008年から2016年まで、氏はオペラ・ノヴァのホルン奏者を務めました。現在は、ブイドゴシュチ市のヤン・パデレフスキ記念ポモージェ交響楽団の首席ホルン演奏者です。氏はまた、ブイドゴシュチ室内楽団やソポト氏のポーランド室内音楽とも共演しています。アントニ・ヴィト、ヤツェク・カスプシク、ミコラ・ジャジュラ、ユージン・ツィガン、ジュオザス・ドマルカスなど、数多くの著名な指揮者の下で、演奏を行ってきました。

2013年にヤヌシュ・ピョトル・スタネツキ氏は、ブイドゴシュチ市のヤン・パデレフスキ記念ポモージェ交響楽団のソリストとして、レインゴリト・グリエール作曲ホルン協奏曲を演奏しました。氏はまた、トルン・ホルン四重奏団のメンバーでもあり、トルン交響楽団、ジェロナ・グラ交響楽団、ヴァルミヤ・マゾフシェ交響楽団、ポモージェ交響楽団と演奏を重ねてきました。氏はまた、ドイツの Norddeutsche Hornstage (北ドイツ・ホルン・デー) (2014年)、クラクフの Summer Academy of Music (夏の音楽アカデミー) (2006年) などのマスタークラスでも研鑽を積んできました。2012年にはブイドゴシュチ市フェリクス・ノヴォヴィエイスキ記念音楽大学博士課程に入学し、現在は同大学の奨学生です。

ヤヌシュ・ピョトル・スタネツキ氏は日本で交響楽団と共演し、幅広い日本の聴衆のみなさまに、その驚嘆すべき演奏技術を披露することでしょう。

駐日ポーランド共和国大使館は、指揮者・及川光悦先生が、ポーランドの若く才能ある音楽家が演奏する、クラシック音楽を日本のみなさまにお楽しみいただく機会をつくられ、またポーランド・日本両国間の文化交流の促進にご尽力いただいていることを、高く評価いたします。

指揮者・及川光悦先生の文化事業へのみなさまのご支援とご助力を、よろしく願います。

駐日ポーランド共和国大使

ヤツェク・イズィドルチク